

令和7年度 次世代創出PBL推進事業
実施報告書【学校課題実践校用】

学校番号	19
学校名	富山県立富山南高等学校

学校の現状と課題	本校では、校訓「自ら 学び 思い 律する」のもと、「志高く創造性豊かな実践力のある人間を育成する」を教育目標としている。多くの生徒は温和で良識を有し、卒業後もより高度な学びを継続することを希望し、さらに学習と部活動を両立させようと努力している。そこで、主体的な学習生活を確立させるための指導法を工夫することによって、積極性を身につけ、忍耐力や集中力を持続できる生徒の育成に努めること、自分の生き方、将来の職業、進学目的について十分考える機会を設けることにより、学ぶ意欲を高めることを課題として取り組む。
テーマ(特色)	主体的に学習する強い意志と実行力のある生徒の育成
設定した「テーマ」の達成状況	生徒の学習到達度や興味・関心等に配慮し、「主体的・対話的で深まる授業」を行うとともに、主体的な学習習慣の確立を目指し、グループ毎にテーマを設定した探究活動や「タイやアメリカの高校生との交流」等を通して主体的に学習に取り組む姿勢を育成した。富山大学から講師を招き、探究の重要性や進め方を学び、年間を通して助言を受けることにより、探究学習に必要な資質を見に付ける機会となった。教職員向けに講話をしていただくなど、高大連携の取組は教員の指導力向上にもつながっている。さらに、富山県庁や企業から外部講師を招き、課題発見の方法や取り組み方についてサポートしていただいた。また、海外の高校生との交流を通して、海外の異なる生活・文化や考えに触れ、自分たちの生活文化を客観的に捉え、理解を深める機会となった。 総合的な探究の時間や海外研修の事前・事後指導では、スライドショー等を利用してプレゼンテーション能力の向上を図り、質疑応答では質問に対する的確に回答する能力を育成する機会となった。 高校3年間を見通した計画的・継続的な指導により、生徒の自己実現に向けた学習支援と育成を目指すことができた。
実施内容 (具体的に記入する)	<ol style="list-style-type: none"> 学習意欲・学力の向上のための授業改善 <ol style="list-style-type: none"> 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた学習支援の在り方及び教員の指導力向上のための研修 富山大学から講師を招き、探究学習の重要性や学習支援の在り方について研修した。 学年運営の在り方に関する校内研修の実施 実績を持つ外部講師を招き、学年運営に係る校内研修を実施した。 生徒の進路達成のために、高校3年間を見据えた実効性ある指導体制の構築 <ol style="list-style-type: none"> 大学との連携による意識の啓発 富山大学から講師を招き、探究学習の重要性や具体的な進め方に関する指導を受けた。また、年間を通して助言を受け、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指した。 富山県庁や企業からのサポート 富山県庁や企業から講師を招き、課題の発見や課題に対する様々な視点の在り方についてサポートを受けた。 先輩(大学生)に学ぶ会の開催 本校卒業生との交流を等して、進路や学習に関する見識を深めた。 グローバル人材の育成 <ol style="list-style-type: none"> サンディギート高校との交流と海外研修 アメリカの地理・歴史を学び、実際にアメリカの高校生と交流し、自国文化の紹介を通して考え方や文化の違いを知り、自国文化を客観的に捉える機会となっている。 タイの高校との交流 自己発信力の向上を目的とし、タイの高校生との交流を通して、日泰の国や文化に対する意見をお互いに発信することによって、民族間の考え方・文化の違いを学び、泰の文化に対する理解を深め、自国文化を客観的に捉える機会となった。 総合的な探究の時間の活用 <ul style="list-style-type: none"> 県内の大学から講師を招き、課題設定の方法、仮説の立て方、研究の進め方、情報収集の方法、研究成果発表方法を学ぶ機会となった。 自治体や企業より具体的な課題を提示していただき、課題解決に向けての調査や研究で、自分の意見を持ち、意見を出し合い、まとめ、発表する活動を通して、思考力や実践力などを身に付けた。
取組による成果 (プロジェクト学習推進の観点から)	<ol style="list-style-type: none"> 授業改善等による学習意欲・学力の向上について 富山大学の外部講師による研修では、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた探究学習において、教員の指導方法の改善に効果があった。また、外部講師の利用は教員に新しい視点をもたらすだけでなく、探究学習の煩雑な準備等の軽減など、働き方改革にもつながった。学年運営に関する研修では、全体を見ながらそれぞれの業務について考える機会となった。 生徒の進路達成のための高校3年間を見据えた実効性ある指導体制の構築 富山大学の探究学習の専門家により、生徒は探究学習の意義について理解を深め、探究学習の進め方やプレゼンテーション等に関する助言を受けた。また、他にも多くの外部講師による助言を受け、充実した探究学習を実施できた。生徒のアンケートでは「非常に積極的に参加できた」「積極的に取り組めた」と答えた生徒が95.6%にも及び、満足できる成果となった。「主体的・対話的で深い学び」の定着につながっている。 グローバル人材の育成 広い視野から課題設定し、仮説の検証、研究成果と今後の課題をまとめる一連の研究の進め方を身につけることができた。国際コースでは1年次の探究学習をより深化させるを目指し、国際問題やオーバーツールリズム等の国内で抱える問題等に焦点を当てた課題を設定し、情報を集め、データを基にした根拠による対話や議論を行った。自分の意見を伝え、他者の意見も尊重して聞き、お互いの考えを共有することによって視野を広め、多面的に物事を捉える姿勢を身につけることができた。意見交換やスライドショーを用いた発表を通して、コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力の向上につながった。また、サンディギート高校生やタイの高校生等とのオンライン交流を通して、自己発信力を向上させた。双方の生活様式や文化について意見を交換することによって、外国の生活・文化に対する理解を深め、自国の生活・文化を客観的に見つめる機会となった。海外研修では、サンディギート高校生との交流を通して英語で自分の意見を発信する力をさらに高め、大学の授業を受講することによって海外大学への進学を含めたキャリアの設計を促した。

対象者(学年・人数など)	全校生徒・全教職員	
実施実績	4月	県内の大学より講師を招き、総合的な探究の時間に関する研修の実施(2年)
	5月	県内の大学より講師を招き、総合的な探究の時間に関する研修の実施(1年) 互見授業実施(授業改善と教材研究の深化を図る)
	6月	サンディギート高校との交流(3月まで随時実施) 富山県・県内企業より講師を招き、総合的な探究の時間に関する研修の実施(1年)
	7月	進路探訪(県外の大学見学・企業訪問等)(2年) 県内の大学より講師を招き、総合的な探究の時間に関する研修の実施(1年) 富山県・県内企業より講師を招き、総合的な探究の時間に関する研修の実施(1年)
	8月	県外企業より講師を招き、総合的な探究の時間に関する研修の実施(1年)
	9月	国際協力を携わる講師の講演と様々な職業人による講話(1年) 富山県・県内企業より講師を招き、総合的な探究の時間に関する研修の実施(1年)
	10月	外国人講師による生徒への講演および実習
	11月	富山県・県内企業より講師を招き、総合的な探究の時間に関する研修の実施(2年) 県内の大学より講師を招き、総合的な探究の時間に関する研修の実施(1年)
	12月	進路探訪(社会人講話)(1年) 進路探訪(県内の大学見学・企業訪問等)(2年) 外部講師による探究に関する講話(1年)
	1月	県内の大学より講師を招き、総合的な探究の時間に関する研修の実施(1年) 富山県・富山市・県内企業より講師を招き、総合的な探究の時間に関する研修の実施(2年)
	2月	外国人講師による生徒への講演
	3月	海外研修(アメリカ)